九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

写真資料 ： JR九州・日田彦山線解体直前の彦山駅

塩川, 節子
フォトグラファー

荒木, 正見
総合文化学会

https://doi.org/10.15017/4776885

出版情報：総合文化学論輯. 15, pp.121-146, 2021-11-01. Japan Institute for Comprehensive Cultural Studies
バージョン：
権利関係：Copyright (C) 総合文化学研究所 all rights reserved. この論輯の全ての文章・画像の権利は、 総合文化学研究所に属します。無断での使用・転載を禁止いたします。

写真資料：

JR 九州・日田彦山線

解体直前の彦山駅

撮影　塩川　節子

記　荒木　正見

2017 年(平成 29 年)7 月 5 日から 6 日にかけて九州北部地方を襲った線状降水帯による豪雨によって JR 九州・日田彦山線　添田駅～夜明駅間は、2021 年 3 月現在まで鉄道の復旧ができない状態が続き、結局 BRT 方式（バス高速輸送システム）による輸送方式に切り替え、それに伴って彦山駅（福岡県田川郡添田町大字落合 800）の現駅舎を撤去、再整備をすることが決定した。以下の関連する WEB 情報（https://travel.watch.impress.co.jp/docs/news/1312096.html）では次のように述べられている。（最終検索 2022.3.15）

まず、「福岡県添田町と JR 九州（九州旅客鉄道）は 3 月 15 日（注：2021 年）、日田彦山線 彦山駅の再整備に伴い、現駅舎を撤去することを発表した。」とされ、輸送については BRT（バス高速輸送システム）で復旧する。具体的には、添田駅～彦山駅間と宝珠山駅～夜明駅間を一般道、彦山駅～宝珠山駅間を BRT 専用道で整備するとされている。

これに伴って、駅や駅周辺の整備、駅以外の停留所の新設など、地域全体の活性化を睨んだ大規模な工事が行われることになるが、ここ彦山駅は 1942 年（昭和 17 年）8 月 25 日開業以来すでに 80 年が過ぎて老朽化が進んでいるとのことやバリアフリーに不向きな構造をしている等の理由で、駅舎とその基礎構造までも 2021 年 4 月 19 日から撤去が始まった。引き続き約 2 年をかけて周辺整備などが行われる。

ところで、彦山駅は、霊峰英彦山（標高 1199.5m＝南岳）の登山口として信仰や観光で訪れる多くの登山者の基地となってきた。一帯はそれら登山者を受け入れる、特産・柚子胡椒の柚乃香等の土産物の店や地元の食材を生かした食堂などが立ち並び、鉄道輸送が主流だった頃には地域の中心的なエリアとし

て賑わっていた。
　その後モータリゼーションの時代となり、標高 500m以上の英彦山中腹の銅鳥居（かねのとりい）から、参道を徒歩 30 分登る英彦山神宮下宮・奉幣殿にかけての古くからの旅館街をはじめ、一帯のホテル、キャンプ場に直接車で乗り着けるようになって、彦山駅周辺の往年の賑わいは見られないが、現在でも郵便局などを有する地域の中核的役割を果たしている。

　この度の鉄道の BRT 化は以上のような事情に天災が重なって起こった事であるが、歴史ある駅舎に思いを持つ方々は多い。従ってせめて写真資料としてその最後の姿を保存すべく、フォトグラファー塩川節子氏に撮影を依頼した。
　撮影日は 2021 年 3 月 20 日である。
　なお、撮影者の感性と、映像の資料としての直接性を重視して特に編集は行ってはいない。
　また、撮影に関しては地元在住の渡壁希久代様のご協力を賜りました。
　心から感謝申し上げます。

彦山駅

彦山駅
HIKOSAN STATION
神話と伝説・森林浴の玄関口彦山駅

のりばご案内
小倉 方面 1 2
日田 方面 3

2
4

1
ひこさん

ようこそ
国定公園
英彦山へ！
御由緒

4

トイレ

←WC
話と伝説・森林浴の玄関口彦山駅
トイレ
町営バス
神話と伝説・森林浴の玄関口彦山駅

神話と伝説・森林浴の玄関口

ひこさん

ひこさん

ひこさん

ひこさん
HIKOSAN

ひこさん
HIKOSAN

ひこさん
HIKOSAN
彦　山
（福岡県田川郡添田町）
ぶぜんますだ
BUZEN-MASUDA
ちくぜんいわや
CHIKUZEN-IWAYA

ひこさん
HIKOSAN
彦　山
（福岡県田川郡添田町）
ぶぜんますだ
BUZEN-MASUDA
ちくぜんいわや
CHIKUZEN-IWAYA

工事用車両出入口
関係者以外立入禁止

彦山駅
HIKOSAN STATION
神話と伝説・森林浴の玄関口彦山駅

鯉ヤマメ料理
駒どり
駒料理
営業中

［The Last Landscape of JR Hikosan Station］
[SHIOKAWA, Setsuko・フォトグラファー
ARAKI, Masami・総合文化学会・哲学的場所論]